

# 決算の細部までチェック

委員会での審議の概要をお伝えします。

## 住宅再建支援

被災者再建住居移転補助金  
1485万円

**問** 仮設住宅から引越す際に掃除をすることとなっているが、その費用は補助金で賄えるのか。また掃除業者に聞くと、地区や検査をする人によって対応が違うという。そして今の時期、空いた仮設に入居する方はいないと思うが、費用をかけてまで掃除をするのは無駄ではないのか。

**復興企画課** 引越しの補助対象額は引越業者に支払った実費分である。掃除に関しては、自分でするかシルバー人材センターに依頼して対応してもらっている。

**建築住宅課** どの仮設住

宅であっても掃除の仕方は変わらない。使った仮設住宅はきれいに返すようにお願いしている。

**問** きれいに掃除をしたあとも使うのであれば分かるが、使わないで解体すると被災者に対して余計な出費を強いていることになる。そのようにしなくてもいいようにできないか。

**シルバー人材センター** に検査を依頼しているようだが、検査をする人によって厳しい人と厳しくない人がいるようだが。

**建築住宅課** 基本的には使ったものに関して、きれいに返すようお願いしている。掃除の仕方はできる範囲の中で頼んでおり、隅から隅までとはお願いしていない。また、検査の仕方について人により違いがあるようなので、統一性を持って検査してもらうよう指導する。

## 消防防災

消防屯所施設修繕料  
23万円

**問** どの施設を修繕したのか。

災害復旧事業により被災した屯所が全部建つこととなった。第7分団屯所にも水は上がったが、災害復旧事業等に該当し

なかったのか。

**消防防災課** 第10分団屯所の窓ガラス、第12分団屯所の雨どいなどを修繕した。また消火栓の修理等を行った。

**問** 第7分団屯所は人の背の上まで水が上がった

にも関わらず、現状のまま使われているということ、今後の消防団施設の管理方針というのはどう考えているのか。

**消防防災課** 確かに津波により被災しているが、当時の判断で改修して使用できるということ、現在に至っている。今後破損等があれば、その都度補修しながら延命を図っていきたい。

## 教育

学力検査等委託料  
(小学校・中学校)  
計 106万円

**問** 学力テストの結果において、小学校に関しては全国同等くらいとあるが、中学校に関しては正答率が数学、英語で10ポイント以上、下回っている。これは震災による影響か。

**学校教育課** 8月末、全国学力調査の結果が公表された。29年度の結

は、小学校・国語A、国語B、算数A、算数Bの4つのテスト全てで28年度より向上した。全国平均を100とした場合の指数も97から100の間であり全国水準同等の力をつけている。中学校は国語が28年度より向上し全国水準同等である。課題が多いのは数学で、若干の向上はあるものの全国水準を下回っており、今後も改善に向けて重点的に取り組む。英語は31年度から全国学力調査の新規科目となる。29年度、小中学校合同の外国語活動研修会等を実施し、指導力向上に取り組んでいる。

さらに英語については、英語検定手数料として28年度から新規事業を立ち上げている。子供たちに英語検定を無料で受けさせ「やればできる」という自信を持たせられる取り組みとした。



消防団は町の宝です  
(津波被害に遭うも修繕した第7分団屯所)